

市議会臨時会

平成22年第2回常陸大宮市議会臨時会が、11月26日に開会され、次の議案が審議され、可決されました。

条例

○常陸大宮市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

市議会定例会

平成22年第4回常陸大宮市議会定例会が、12月6日から22日まで開会され、次の議案が審議され、それぞれ可決、同意されました。

条例

- 常陸大宮市地域医療を担う人材確保修学資金貸与条例
- 常陸大宮市医師確保基金条例
- 常陸大宮市都市公園条例
- 常陸大宮市過疎地域自立促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市奨学資金等貸与条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市社会体育施設条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市花立自然公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市山方リフレッシュふるさと推進施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市営公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

平成21年度補正予算

○常陸大宮市一般会計・特別会計(7会計)補正予算

契約

○常陸大宮市地域情報通信基盤整備工事請負契約の変更契約の締結について

○大宮西小学校校舎耐震補強・改修工事請負契約の変更契約の締結について

○美和小学校校舎耐震補強・改修工事請負契約の変更契約の締結について

人事

(敬称略)

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
鈴木 泰全(山方)

その他

- 過疎地域自立促進計画について
- 市道路線の認定・変更について
- 指定管理者の指定について(19件)

美和中部地区に

農業集落排水処理施設

11月19日、平成15年度から整備が進められてきた美和中部地区農業集落排水処理施設の竣工式が、地元関係者及び来賓の方々が出席し行われました。



▲左から推進委員会坂井委員長・県北農林事務所鬼澤所長・三次市長・仲田議長

この処理施設は、計画戸数490戸、計画処理人口2000人で、1日平均540m³の汚水を処理することが出来ます。



また、環境に配慮してコンポスト施設も併設され、汚泥を処理して造られた熟成品は汚泥肥料として農地へ還元されます。
今後は、農業用水・公共用水域の水質保全や快適な生活環境づくり推進のため、早期接続をお願いします。

今年はしし鍋

11月20日、緒川物産センターかざぐるまで特産品祭が開かれ、しいたけや自然薯等地元特産品の販売が行われました。

会場では、緒川猟友会の協力により、捕獲されたばかりのしいたけで作ったしし鍋が1杯100円で提供され、訪れた人々は、珍しい鍋の味を楽しんでいました。



関東一の鍋で芋煮

11月21日、山方地域の清流公園で、第13回やまがた宿芋煮会が行われました。

奥久慈シャモ肉やネギ、芋がら等の常陸大宮産食材をしょうゆと砂糖で味付けし、用意された芋煮は5000食分。その他、芋串や地元の特産品等の販売も行われました。また、来場者の中には、会場内に設けられた芋煮茶屋でゆつくりと腰

をおろし、芋煮や鮎の塩焼き等を味わう方もいて、思い思いに山方の味を満喫していました。



▲芋煮を求めて長蛇の列が出来ました

北斗星新そばまつり

11月23日、みわ★ふるさと館北斗星（道の駅みわ）で北斗星新そばまつりが催されました。

今年は、地元のそば打ち愛好会の方によるそば打ちの実演があり、見学者からの質問に応じながら、和やかな雰

囲気でそば打ちが行われました。



車に乗ったら 忘れずに

常陸大宮市ネットワーク協議会ヤッホーふれあいの会(木村勉会長)は、毎月シートベルト着用調査を山方宿駅前で行っています。

◎10～12月調査分

調査日	運 転 席			助 手 席			合 計		
	台 数	着用数	着用率(%)	台 数	着用数	着用率(%)	台 数	着用数	着用率(%)
10月1日	239	236	98.7	27	26	96.3	266	262	98.5
11月4日	200	198	99.0	17	15	88.2	217	213	98.2
12月1日	185	180	97.3	28	25	89.3	213	205	96.2

知 市ってニュース!

このコーナーでは、市民の皆さんからの情報をお待ちしています。写真と原稿をお持ちください。

なお、お寄せいただいた情報は掲載できない場合もありますので、ご了承ください。

★本庁企画課情報・広報グループ

☎ 52-1111 内線383

FAX 53-6010

✉ kikaku@city.hitachiomiya.lg.jp

広報常陸大宮・ホームページ 掲載広告募集中!

広報紙 半枠(縦45mm×横 85mm): 9,000円/回

全枠(縦45mm×横175mm): 18,000円/回

* 詳しくはホームページをご覧ください。本庁企画課行政改革推進室までお問い合わせください。

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>



▲押切の使い方を熱心に聞く子ども達

盛金の高村喜典さんの楮畑をお借りして、栽培の指導を受けながら、間引きや数度の芽欠きを行って育てました。紙すきに必要なたろろアオイも育て、12月5日に無事収穫。舟生の菊池三千春さんに教えていただきながら、楮を押切で切り揃え、蒸し上げて皮をむき、諸沢在住の相沢

歴史民俗資料館では、2月15日から開催される和紙についての企画展に合わせ、子ども達に呼びかけて、茨城大学の学生とともに、平成22年6月から「コウゾを育てて和紙を漉こう!」という体験講座を行っています。

体験講座 「コウゾを育てて和紙を漉そう!」

初江さんに手ほどきを受けて、ヒョヒトリ（表皮取り）にも挑戦しました。

押切を使ったり台ばかりで重さを量ったりと、何もかもが初めての体験で、学生達も昔ながらの道具や方法に、感心することしきりでした。小春日和の一日、子ども達が楮のカラ（芯）でチャンバラに夢中になるシーンもありましたが、おおむね熱心に取り組みました。



▲自分達で育てた楮のヒョヒトリ

次回はよいよ自分達が育てた楮を煮て、ちりを取り、棒でよく打ちこなして紙にすき上げます。さて、どのような紙が出来るでしょうか?! 一年間の活動記録とともに、出来上がった作品も企画展に展示します。企画展「水戸の紙く生産と流通と消費」の開催期間は2月15日から4月10日。月曜休館です。詳しくは、1月25日発行の広報常陸大宮おしらせ版をご覧ください。ご来館をお待ちしています。

いっしょにまちづくり

畑プロジェクトから具現化した新しいライフスタイル

茨城大学 人文学部 社会科学科 4年 山本 裕也さん

茨城大学の学生が常陸大宮市の塩田地区で定期的に農業を体験している「JML畑プロジェクト」活動について、茨城大学の学園祭で発表しました。具体的には、8カ月の活動を歴史学や政治学などの視点から分析し、研究論文として「JML論集」にまとめ、活動を通じて考えた「環境と共生する持続可能なライフスタイル」のパネル展示などを行いました。



学園祭を訪れた方々に行ったアンケートを見ると、私達の活動を理解し、新しいライフスタイルに共感してくださる方が多数いることが分かりました。学園祭で発表するまでには様々な問題に直面しましたが、学生が主体的に始めた活動に多くの共感を得られたことで、こういった活動が今後の社会にとってかけがえのない財産になると確信しました。

※just My Lifeの略

・市と茨城大学とは相互に連携協力し「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」を目指して各事業に取り組んでいます。

冬休みにたこ作り

12月26日、図書館で、市内の小学生とその保護者合計20人が参加し、NPO法人ひと・まちねつとわーくの飛田隆久先生の指導のもと、たこ作り教室が行われました。

作ったのは「ぐにやぐにやだこ」というポリ袋を利用したたこで、構造は簡単ですが、よく揚がるといわれているたこです。

教室の最後には、完成したたこを図書館前の広場で揚げてみました。すると、たこは風をうけ、みごとに青空に高く揚げられました。



※作り方を知りたい方は、図書館までお問い合わせください。

☎53-7300